

## 令和4年度第2学期終業式式辞（放送）

おはようございます。穎明館生の皆さん、寒い毎日が続きますが、元気にしていますか。第2学期終業式、節目の日を迎えました。今日もまた、生徒の皆さんそれぞれが自己を省みてほしいと願い、メッセージを贈ります。テーマは「大人について」です。

今年、2022年4月より、成人年齢が20歳から18歳になりました。国際社会では18歳成人が主流なため、日本でも18歳、19歳を大人として認め、社会への積極的な参加意識を高めてもらおうということが主な理由です。6年生の中には18歳を迎えて、すでに成人の仲間入りをした人もいますね。友達に「大人だなあ」と思う人はいますか。それは18歳になったかどうかに限らないかもしれない。皆さんはどんな人が大人に感じられますか。

年齢に関わらず「大人」と言われる人は、他人に配慮ができたり、怒りを抑えることができたり、世の中全体のことを考えたりすることができたりする人なのかな、と思います。4年生の「倫理」では「青年期」を勉強しますね。伝統社会では通過儀礼（イニシエーション）を通じて大人になった。近代社会では経済的に豊かになったこともあり、子どもから大人への過渡期、すなわち青年期が生まれた。一般的には中学生から大学生くらいまでがその「青年期」に当たるが、モラトリアムと呼ばれる大人になる猶予期間は大人になることの難しさ、課題を突き付ける。「第二の誕生」、「疾風怒濤の時代」、「心理的離乳」、「第二反抗期」等々、不安定な青年期を象徴する言葉は数多くあります。自意識過剰の傾向が見られ、劣等感や孤独感を持ちやすいのも特徴です。皆さんの中には、「今の自分に当てはまる」と思う人もいないのでしょうか。心配いりません。学問、発達心理学の上では、当然のことです。その昔、「みんな悩んで大きくなった」というCMがヒットしましたが、私も先生方も、親や身近なおじさんやおばさんも皆、多かれ少なかれ、悩んで大人になったのです。だから悩み、苦しむときは逃げずに正面で受け止めて、とことん悩み、苦しんで大丈夫です。その経験を今後に生かすことはできます。勉強、クラブ活動、友人関係、あるいは家族のこと等々、皆さんの中には人に言えない問題を抱えている人もいることでしょう。信頼できる人に相談することも勧めます。適切な助言をくれる、生きる力になってくれる人に出会ってください。大人だってさまざまな悩みや苦しみを抱えています。ただ長く生きている分、それをやり過ごす力を持っていたり、方法を知っていたりするのです。感受性の豊かな青年期の皆さんに比べて、鈍感になっていることを否定できませんが……。皆さんが焦らずに、自分のペースで自分らしく成長していくことを願っています。

「大人について」、思いつくまま話してきました。ここで一冊、本を紹介しておきます。

吉本ばななさんの『おとなになるってどんなこと？』（ちくまプリマー新書）です。

今からたくさんすぎるほどの言葉を本文で伝えていきますけれど、たったひとつ言いたいことは、

「大人になんかならなくたっていい、ただ自分になっていってください」  
ということです。それがみなさんがこの世に生まれてきた目的なのです。  
どうか、それをふまえて読んでみてください。

まだ年齢的には子どものみなさんや、もう大人になっているけれど自分の中の子どもを大切に抱えているみなさんの、眠れない夜にこの本が寄り添ってくれますように、願いを込めて…！

まえがきを少々、読み上げました。興味が湧いてきませんか。

私自身のことを振り返ると、中学高校時代、早く大人になりたくて仕方ありませんでした。自分の中の幼さが許せなかった。だから背伸びをして難しい本をたくさん読み、自分の世界を広げると思って、勉強にも励みました。背伸びをしすぎて失敗したこともあります。そんな私は「大人になった」という明確な自覚のないまま今に至ります。だから今も「大人」について考え続けています。そして昨日の自分から今日の自分、今日の自分から明日の自分には何か新しい変化があると信じて生き続けることが、生きる希望になっています。皆さんにも、ぜひ「大人について」考える人間、希望を持ち続ける人間になってほしいと思います。

さて6年生、36期生の皆さん、その後、調子はどうですか。私にとって秋のHR行脚は実に楽しかった。「切に思ふことは必ず遂ぐるなり」、「ユーモアを忘れない」、「感謝、心がけ」等々、覚えていますか。「受験結果はもちろん信じていますが、受験勉強、大学受験に真摯に向き合って、乗り切ることで的人間的な成長を期待しています。大人の顔つきになり、大人としての言動やふるまいができる皆さんと卒業式で会いましょう」——こう伝えた気持ちに今も変わりありません。楽しみにしています。頑張れ受験生、頑張れ36期生！

穎明館生の皆さん、明日からの冬休み、短いけれど日本の文化や風習にどっぷり浸かれる期間です。健康に留意しつつ、穏やかな気持ちで年末年始を過ごしてください。皆さんが、エネルギーを充電し、新たな決意で、新年、3学期を迎えることを願っています。

以上、令和4年度穎明館中学高等学校第2学期終業式式辞と致します。